

# 大立 日本と祖国の懸け橋に 新コース、留学生40人入学

兵庫県立大学神戸商科キヤンパス(神戸市西区)で20日、4月に新設された国際商経学部グローバルビジネスコース(GBC)第1期留学生の入学式があった。定員の4割を外国人学生が占め、講義は全て英語。今回はタイやインドネシア、ルーマニアなど10カ国・地域の計40人が日本大学

生と共に国際的視野を持った人材を目指す。GBCは、経済、経営学部を再編した国際商経学部で開講される3コースの一つ。

留学生はそれぞれの国旗を手に携え、保護者や大学関係者ら約150人に拍手で迎えられた。太田勲学長が英語で「将来は(祖国と)日本との懸け橋に成長してほしい」とあいさつ。インド人留学生のアヌシユカ・シユクラさん(18)が新入生を代表し「経済や経営の仕組みが発展した日本で学ぶことは誇り」と語った。

(千葉翔大)



入学式に臨むGBCの第1期留学生ら＝神戸市西区学園町3